



イマジン ロータリー

RI会長 ジェニファー・ジョーンズ

2022-2023年



Rotary District 2640 Japan

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 中村 俊之 幹事 千賀 知起 SAA 田中 淳

第 2113 回例会

2022 年 10 月 17 日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

I DM 報告

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

「我等の生業」

3. 出席報告

会員総数 45 名 出席者数 24 名

出席義務規定適用免除会員 3 名

出席率 58. 53% 前回修正出席率 68. 29%

4. 会長スピーチ

会長 中村 俊之 君

皆さんこんにちは、ようやく秋らしい気候となってきました。本日も例会に出席いただきありがとうございます。本日の卓話は「ロータリークラブが行える奉仕活動」をテーマに 9 月 27 日から 10 月 8 日の間に行っていた、I DM の発表となります。各組のリーダー、副リーダーを務めていただいた方ご苦労様でした。後ほど発表よろしくお願ひいたします。また、すべての班の発表終了後、研修・情報規定委員会委員長の谷脇様より総評をいただきます、よろしくお願ひいたします。なお、皆様からご報告いただいたご提案、ご意見を取りまとめ、理事会や社会奉仕委員会にて協議し、実施検討していきたく考えています。



報告事項です。前回の例会でもお話がありましたが、10 月 2 日、クラブ青少年関連委員会に寺下さんが出席していただきました。内容についても前回の例会で少しお話しいただきましたが、詳しく 11 月 28 日の例会にて卓話していただく予定となっています。次に 10 月 12 日に行われた理事会にての協議決定事項です。

- ・11 月例会のプログラム承認いただきました。11 月は会員卓話メインで例会を開催させていただきます。
- ・きうちこども食堂との共同事業として、12 月に子供食堂に参加される子供たち、約 150 人にクリ

スマスプレゼントとしてお菓子を配布することが承認されました。

お菓子を詰める作業、配布する作業をこちらが行うので、その際は皆さんご協力お願ひいたします。

- ・クリスマス例会の開催は 12 月 19 日の例会をクリスマス例会として夜に開催することが承認されました。内容については、親睦委員会にて協議していただく事となっています。
- ・新春夫婦例会について、令和 5 年 1 月 7 日(土) 18:30 より、和歌山マリーナシティホテルにて開催します。当日の食事や余興についても親睦委員会にて協議していただく事となっています。また、皆さんには普段の夜例会とは違う雰囲気の例会になるよう是非パートナーの方とご一緒に参加いただくようお願い申し上げます。今年もまた皆さんお楽しみの海南東ロータリーバンドが活躍されるかも。
- ・その他として

海南東 RC で取得した ZOOM アカウントについて、例会で毎回運用していますが、残念ながら ZOOM にて参加していただける方が少なく、十分に活用できていないのが現実です。そこで会員の皆様に予約制にて海南東 RC アカウントにて利用していただくようにしていきたいと考えています。同時開催できないので先着順とはなりますがご希望の方は日時、テーマなど必要は情報をメールで事務局に送っていただければ、ミーティング ID、パスコードをメールにて返信いたします。

10 月 13 日に 2022-2023 年度 ロータリー財団地区補助金の申請が認められ、¥272,600 円が振り込まれました。角谷財団委員長さん、田岡国際委員長さんと相談しフィリピンへの支援事業を進めていきます。

あと喜ばしいことですが、グローバル補助金、グローバル奨学生の推薦依頼が海南東 RC に電話にてありました。急な電話だったので今のところ、峯本さんというお名前と女性、現在、東京在住で本籍地は海南市という事しかわかっていません。履歴書の提出をお願いしているところです。届き

**10 月は地域社会の経済発展月間
米山月間です。**

四つのテスト 実行はこれに尽してから

①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか

Rotary 

イマジン
ロータリー

事務所 〒642-0002
海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

次第連絡して、可能であれば海南に来ていただき面接したうえで推薦するかどうかを決定したいと考えています。スケジュールとしては11月中に海南東RCより地区に推薦、12月中に地区にて選考となっています。

5. 幹事報告

幹事 千賀 知起 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山西 RC 10月12日(水)26日(水)

カフェ例会

10月19日(水)→10月20日(木)

18:00~「や万志多」

○10月ロータリーレート

1\$=145円

6. IDM報告

テーマ：ロータリークラブが行える奉仕活動

●1組 出席者6名

発表：千賀 知起 君

・紀美野町を例えて都会より移住者に厚遇する事やSDGsに加わり社会に奉仕することがロータリーの奉仕活動につながるのでは。また、移住者に卓話して頂きその地方の良さをアピールすることで、移住者をさらに増加させる一端になるかも(移住者支援という点ではロータリーが掲げる10月の目標提示、経済と地域の発展月間にも通じる)

・奉仕活動の広報という面では和歌山ロータリーがラジオ番組を活用している。

・奉仕活動の王道としてのゴミ拾いも、ただメンバーでゴミ拾いするのではなくゴミスポーツ等を活用してロータリーが主催者側として取り組み、地域や子供経ちを巻き込んで、楽しく啓蒙活動が出来るような工夫が必要。

・キャンプやカヌー体験を通じて、人材育成や短期での留学生交換など青少年の参画により国際的にも視野が広がるのではないかと。

・ロータリークラブメンバー個々が保有する専門分野を大胆に活かせれば、奉仕活動にも可能性が増えるのでは。

・バザー開催も1つの手段では

●2組 出席者6名

発表：角谷 太基 君

・奉仕活動と寄附の定義が違うことを明確にした方がいい。奉仕活動とは、報酬を求めず、また他の見返りを要求するでもなく、無私の労働を提供すること、行うこと。寄附とは、自らの意志で金銭や品物などを無償で提供すること。※そういう意味では、寄附は容易いが、奉仕活動は時間と労力が必要となる。

・ロータリー活動の中で、奉仕活動というよりも、どうしても寄附をしている方が多いのは現実であり、ある意味仕方ないことだが、一部の寄附の行為がこちらから、一方的となり、親切の押し売り、自己満足になってしまっていないかの確認は必要。

・動物愛護に関して、人間の身勝手な行動により捨

てられたり虐められたり、殺処分されているので、少しでも助けてあげたいと思っている気持ちがあるが、どのような奉仕活動をしてよいか、実際まだわかっていない。寄附行為となると、動物愛護団体に対してお金の件は、他のところからも既に寄附や補助があり、間に合っているのではないかと思う。

・タンポポさんも人数が少なくなっていますし、活動がコロナ禍でできない中、先方から何も言われていないのにこちらから、一方的に寄附しているようなことになってはいないか？

・災害ボランティアなどは、奉仕活動となるが、いざ、その際になると、何も知識の無い我々が手伝うことがかえって足手纏いになる可能性もあるのでは？また、遠方、長期間、突発的であることから、実現はむずかしい。

・従来から行っている掃除活動は地域に対する立派な奉仕活動であり、継続すべき。

・フィリピンでの国際活動は、先方が本当に困っているので継続すべき。(奉仕活動、寄附の両面で)

・奉仕活動=実際に労働提供でこまっていることに対しては、私たちは情報不足であり、市役所等に、労働提供で困っていることがないかを問い合わせしてみる。

・街を明るく、元気にするイルミネーションなどの設置とイベント活動が良いのでは？(すでに海南JCさんで実施中)

・最近、防犯カメラの設置をよく見かけます。しかしながら、まだまだ、夜間、暗い道が多く、設置個所が不十分であれば、カメラ設置もよいのでは？(これも、自分たちが設置するのではなく、単なる寄附行為かもしれない)防犯カメラの設置はプライバシーがさらされるので嫌だと言う意見も多いそうで、相反する意見も世間ではあるので注意が必要。

●3組 出席者4名

発表：田岡 郁敏 君

・たんぼぼの会への支援活動

・子ども食堂への支援活動3か所

・海南西RCとの合同の道路清掃活動

・薬物乱用防止の啓蒙活動(和歌山ダルクの支援)

・フィリピンマンドゥエイーストRCと台湾彰化東南RCと合同で水の支援や過去にはマンダローブ植林などです。

そんな中で当日の和歌山新報に和歌山中ロータリークラブが保育園に三輪車3台などを贈るという記事を見つけました。決して規模は大きくないけれど困っている地元へ寄り添った奉仕活動だと思いました。

みなさんヤングケアラーという言葉をご存じでしょうか？まだそんなに年齢の若い若者や学生が親の病気などのために介護などのお世話を頑張っている人達のことですが、そのために仕事を辞めざるをえなかったり、勉強や塾に通えなかったりなど大変苦労されているとのこと。母子家庭父子家庭とともに貧困にも苦しんでいることが

多くあります。こういう人たちを何とかして援助できないかという意見が出ました。ヤングケアラーの人をどう見つけてどんな援助ができるかなど皆さんの知恵をいただきたいと思います。

また、海南省には心身の発達につまずきのある子供にゆっくりとした流れの中で集団での遊びの楽しさを経験させ、人として豊かに成長発達できるように援助していくことを目的とする。との方針のもと「さくら園」という施設があります。イベントやプレゼントなど何かできることがあるのではという意見が出ました。

田中祥秀君も以前話されていた紀美野町での高齢者買い物支援などモビリティも協力することはできないか？

海外からの留学生や出稼ぎの人を呼んで国際交流パーティー（ダンス、その国の食事会など）を開催して日本の良さや海外の文化を体験する。

疲弊している福祉の現場をサポートすることはできないだろうか？

軽度の知的障害者と交流を持ちそのサポートから恋愛相談まで行うなどの意見も出ました。

子ども食堂への支援も拡充し様々な交流ができないか？

●4組 出席者 8名 発表：宇恵 久視 君

- ・納税協会では、毎年小学生を対象に税金の必要性や用途について説明しているが、別のテーマで子供に教養を与えられる活動をする。
- ・当クラブでは甚大な災害が発生した地域に対して災害ランクに応じた寄付を行っているが、着なくなった衣服や日用品を集めて送ったりする物資による災害義援活動をする。
- ・他のロータリークラブでは、里山運動やため池保全のような自然環境を保全する活動を行っているが、そのような活動をする。
- ・海南 JC が毎年実施している海南駅前イルミネーションのような地域活性化に繋がるような活動をしてはどうか、また、海南 JC と共同で実施すれば 今後の会員増強にも繋がるのではないか。
- ・大学への進学に際して、奉仕活動の実績をアピールしたい学生がたくさんいる背景を踏まえて、インターアクトを設立して奉仕活動を実施する。
- ・2019-2020 年度に、海南ふるさと祭りに出店したような地域のイベントに参加する。

●5組 出席者 4名 発表：赤松 昭二 君

五大奉仕の中で主に社会奉仕の事業について話し合った。

「何をすればいいのか」と自分たちで考えていても奉仕の押し売りになりかねない。どのような団体、どのような人たちのどのようなニーズがあるのかを掴むことが大事。これまで継続してきた事業にもニーズに変化がある

例) たんぼぼの会

- ・カヌー教室の対象となるような子供が減少
- ・昨年はコロナの影響もあるが、先方からの要望で太鼓活動への支援として現金を贈呈

例) こども食堂

- ・今年は助成金があり寄付（お金）の増額は不要
- ・クリスマス会の際に 150 個お菓子を配るのが大変なので、それを代わりにする。
- ・毎年寄付金と米を渡しているが、食事の提供ができていないので米は必要ない。

このように社会情勢や各団体の事情で、徐々に変化するニーズもあれば、毎年ニーズが変わることもある。そのニーズをつかむためには、各団体とコミュニケーションをしっかりと取る以外にないし、その中で必要とされる新しい事業も見つかる。

全くの新規事業については、困っている団体等を把握するという意味では公募という方法も考えられるが、広報・告知の問題や、金銭的・規模的にそう大きな事業ができるわけでもないのであまり向いていない。それよりも、既にいろいろな情報を持ってボランティア活動を行っている海南省社会福祉協議会とのコラボや、身内であってもいいのでメンバー各自が仕事・プライベート・ロータリー活動など普段から付き合いがあるところで困っているところがあるならそこを支援するほうが有意義な奉仕事業になる。

●6組 出席者 7名 発表：楠部 均 君

①社会奉仕活動について

活動内容を決めて実行していくにあたって、どのような考え方

- ・地域の問題点を解消していくような活動が良いのではないか
- ・それを地域共同体、地域の人々を巻き込んでの奉仕活動にしていく。そのためにはロータリーの公共イメージをどうやって上げていくかが課題
- ・ロータリーの奉仕活動はロータリー主体で長く続けるのではなく、最初の推進は我々がやってその後は公共団体や民間企業に引き継ぎ、彼らに継続していただけるように仕向けて行くことが大切、そうすることによりロータリーとしてより多くの奉仕活動を開拓できるようになる
- ・できるだけ参加型の奉仕活動にしていく

[活動案として]

- ・地域の問題点が高齢化なので、高齢者が通院するための移動手段で何かできないか？
- ・高齢者が施設に入った後、誰も家の手入れ（例えば庭掃除など）ができない状況への支援
- ・認知症の人向けのイベント「ともに歩む」（海南省と紀美野町で行っていたイベントで現在はコロナで中止している）への支援や参加
- ・異なる障害者の方向けの自立訓練や就労支援を行っている「あすなろ」で行われている障害者向けのお祭りの支援や参加
- ・毎年行っている清掃活動も地域の人を巻き込んでやれるようにしていきたい

②職業奉仕について

職業奉仕とは何か？

- ・世のため人のために奉仕する心をもって職業を営むことが職業奉仕。（人を泣かせるような、人をだ

ますような非道徳的、非社会的行為をして金儲けをしてはならない) 何故、職業奉仕が「ロータリーの金看板」「ロータリーの本質は職業奉仕にあり」と言われるのか?

- ・ロータリーが設立された理由、他団体との違い、四つのテストがロータリーの指針
ロータリーにおける職業奉仕の実践
- ・例会に参加し様々な職種の卓話を聞き職業倫理を学ぶ、そこに矛盾もあり、仕事を優先すると例会に参加できないケースもある。できるだけ Zoom 例会を活用する、メイキャップを活用する、例会の時間の見直し(例えば夜間例会を月2回に増やす、内1回は例会中の飲酒は行わない)
- ・職業奉仕を語り合う機会を定期的に作る、例えば毎年1月の職業奉仕月間に入会5年未満の会員が例会で「職業奉仕とは何か」について卓話する

7. 閉会点鐘

次回例会

第2114回 2022年10月24(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

ゲスト卓話 海南青年会議所

「えきまえイルミネーション」事業について



ニコニコ・BOX

角谷 太基 君	会社創立60年 記念パーティーをしました。
田中 祥秀 君	7月より社長に就任報告
I DM 2組	残金
I DM 3組	残金
I DM 4組	残金

Rotary NEWS

RI 会長がポリオ根絶に向けた 1億5,000万ドルの誓約を発表

国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長は、9月24日に開催されたグローバルシチズン・フェスティバルのメインステージに登場し、ポリオ根絶に対するロータリーの取り組みを紹介するとともに、根絶に向けてさらに1億5,000万米ドルを投入することを発表しました。



ニューヨークで6万人、インターネットやテレビで数万人を前に講演したジョーンズ会長は、最近ニューヨーク州知事が、同地域でのポリオ再発を受けて非常事態宣言を出したことに言及しました。ポリオはワクチンで予防できること、そして野生型ポリオウイルスによる感染はアフガニスタンとパキスタンの2カ国のみで起きていることを強調しました。これらの地域で母親と信頼関係を築き、子どもたちにワクチンを接種するには、女性のワクチン接種者が不可欠です、しかし、ときには嫌がらせや襲撃に遭うこともあります。

パキスタンでは、「最前線で活動する女性の保健員が毎日危険にさらされている」とジョーンズ会長は話します。「彼女たちは、障壁があっても、最後の一人の子どもにポリオワクチンを届けるまで全力を尽くしています」。予防接種プログラムでは、地元の警察・政府と協力し、保健員の安全確保にあっています。

会長はまた、コロナ禍によって一部の国でポリオの予防接種が中断された影響について話しました。2021年には、約2,500万人の子どもたちが、欠かすことのできない予防接種を受けられなかったことを指摘。「世界はこの疾病を大幅に撃退してきましたが、さらに努力を重ねる必要があります」と会長は述べました。

ジョーンズ会長が発表した追加資金は、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)に充てられます。GPEIは8月、2022-26年のポリオ根絶戦略のための新たな資金拠出を求めていると発表しています。「私たちは、これをきっかけに、このイニシアチブの48億米ドルの資金目標達成に向けた大規模な取り組みを開始したいと考えています」コロナ禍によって一部の国でポリオの予防接種が中断された影響について話しました。2021年には、約2,500万人の子どもたちが、欠かすことのできない予防接種を受けられなかったことを指摘。「世界はこの疾病を大幅に撃退してきましたが、さらに努力を重ねる必要があります」と会長は述べました。発表した追加資金は、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)に充てられます。GPEIは8月、2022-26年のポリオ根絶戦略のための新たな資金拠出を求めていると発表しています。「私たちは、これをきっかけに、このイニシアチブの48億米ドルの資金目標達成に向けた大規模な取り組みを開始したいと考えています」

RC会員は、30年以上にわたり、ポリオ根絶のための世界的活動の中心的存在となってきました。当時、125カ国以上で1年間に推定35万件のポリオ感染があった中、ロータリーは1985年にポリオプラスを立ち上げ、1988年にはGPEIの設立を支援しました。それ以来、ポリオの発症数は99.9%以上減少し、2,000万人以上が身体まひから救われたとされています。ロータリーは、約30億人の子どもたちにポリオの予防接種を行い、世界のポリオ根絶活動に26億米ドル以上を寄付し、支援国からの100億米ドル以上の資金確保に貢献してきました。